

# 森林基幹道安孫・平糠線改築工事

受注者：（株）阿部土建エンタープライズ

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級
工事箇所	葛巻町	最終契約額	117,698,900円
契約工期	令和4年10月19日～令和6年2月5日		
工事概要	施工延長180m、幅員7.0m、林道土工1式 函渠工11.3m、擁壁工424.5㎡、排水施設工286.7m 旧橋撤去工269m <sup>3</sup> 、仮設工986㎡		

## ～ 他の模範となる事項：環境への配慮 ～

猛禽類の営巣中心域に位置していることから、近接工事とモニタリング調査結果等の情報共有を図りつつ、猛禽類の専門家の意見を伺いながら、大きな騒音を伴う立木伐採や岩盤掘削等の実施時期を調整するなど、慎重に工事を進めた。また、独自に動植物の専門家による環境調査を実施し、希少野生植物を施工地外に移植するなど、希少野生動植物の保護に配慮した取組を実施した。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

当該工事は、既設の旧橋を撤去し、道路を供用かつ溪流を仮排水しながら函渠工及び擁壁工を主体としたルートに改築する工事であり、クマタカなど希少野生動植物をはじめ、4度にわたる迂回路の切り替えや生活用水として利用されている湧水等への配慮など、課題が多い工事であったが、迅速かつ丁寧な対応を徹底し、卓越した技術と責任感により、難工事ながら高い水準で滞りなく工事を完成させた。



猛禽類の営巣・繁殖状況の確認



希少野生植物の移植状況



完成



施工状況

# 一般県道石鳥谷大迫線大正橋橋梁補修工事

受注者：(株) 大久保建設

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級	～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～ 本工事は、北上川に架かる橋梁上での作業であり、はつり殻の河川への落下や汚濁防止のため、先行床施工式フロアシステム吊足場(NETIS登録TH-150007-VE)を採用し、足場組立・解体時や作業時の安全確保と作業効率の向上、段差や開口部のない快適な作業空間を確保した。 施工箇所の幅員は6mであり、夜間における大型車両のすれ違い時地覆へ接触する可能性があったため、反射式の視線誘導を地覆上に設置し、視認性を高めた。
工事箇所	花巻市	最終契約額	157,591,500円	
契約工期	令和5年3月2日～令和6年3月8日			
工事概要	橋長183.1m、舗装補修工、94m <sup>2</sup> 、伸縮継手工24,4m、橋梁用高欄工366m、橋梁地覆補修工33m <sup>3</sup> 、仮設工(吊足場)1,230m <sup>2</sup>			

## ～ 工事において特に優れている点 ～

北上川に架かる橋梁上での作業であり、はつり殻の河川への落下や汚濁防止のため、先行床施工式フロアシステム吊足場(NETIS登録TH-150007-VE)を採用し、足場組立・解体時や作業時の安全確保と作業効率の向上、段差や開口部のない快適な作業空間を確保した。

完成



先行床施工式フロアシステム吊足場設置状況



視線誘導設置状況



施工状況

# 農村地域防災減災事業後藤・横川目地区第8号工事

受注者：（株）小原建設

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級
工事箇所	北上市	最終契約額	167,929,300円
契約工期	令和5年4月21日～令和6年3月19日		
工事概要	管水路工 246.1m		

## ～ 他の模範となる事項：地域への配慮 ～

現場付近掲示板にPR看板と一体的に工事の進捗状況が一目でわかるようドローン撮影した着工前と施工中の写真を貼り付け、地域住民とのコミュニケーションを図った。加えて農畜産物の地産地消応援活動を積極的に行った。

親子現場見学会において重機試乗、ドローン操縦やワンマン測量の体験を通し地域住民との交流を図るとともに、建設業の担い手確保のため高校生の現場見学会を積極的に受け入れ、建設業のイメージアップを図った。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

この管水路の工事は農業用水落水後の9月5日以降の着工となり、中でも簡易建込土留120m区間の工程管理が課題となったが、「大口径長尺管用簡易土留」への変更を提案するとともに、創意工夫により切梁の開閉に影響のない「天秤式吊り金具」を使用する等、事故もなく工事を完成させた。

加えて、各種団体の現場見学会や農畜産物の地産地消応援活動を行うなど、積極的に地域住民との交流を図った。



工事進捗状況や会社で制作した地産地消応援ポスター等の掲示状況

親子現場見学会の実施状況

施工状況



施工状況



# 二級河川大川筋日蔭地区護岸工事

受注者：（有）澤里土木工業

表彰区分	土木工事	等級区分	土木B級
工事箇所	岩泉町	最終契約額	50,620,900円
契約工期	令和4年11月30日～令和5年11月30日		
工事概要	コンクリートブロック積工（緑化ブロック） 213m <sup>2</sup> 、 掘削工 530m <sup>3</sup> 、掘削工【ICT】 220m <sup>3</sup> 、 工事用道路工 560m <sup>3</sup> 、敷砂利 470m <sup>2</sup> 、 大型土のう 139袋、仮水路工（Φ1100） 100m		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

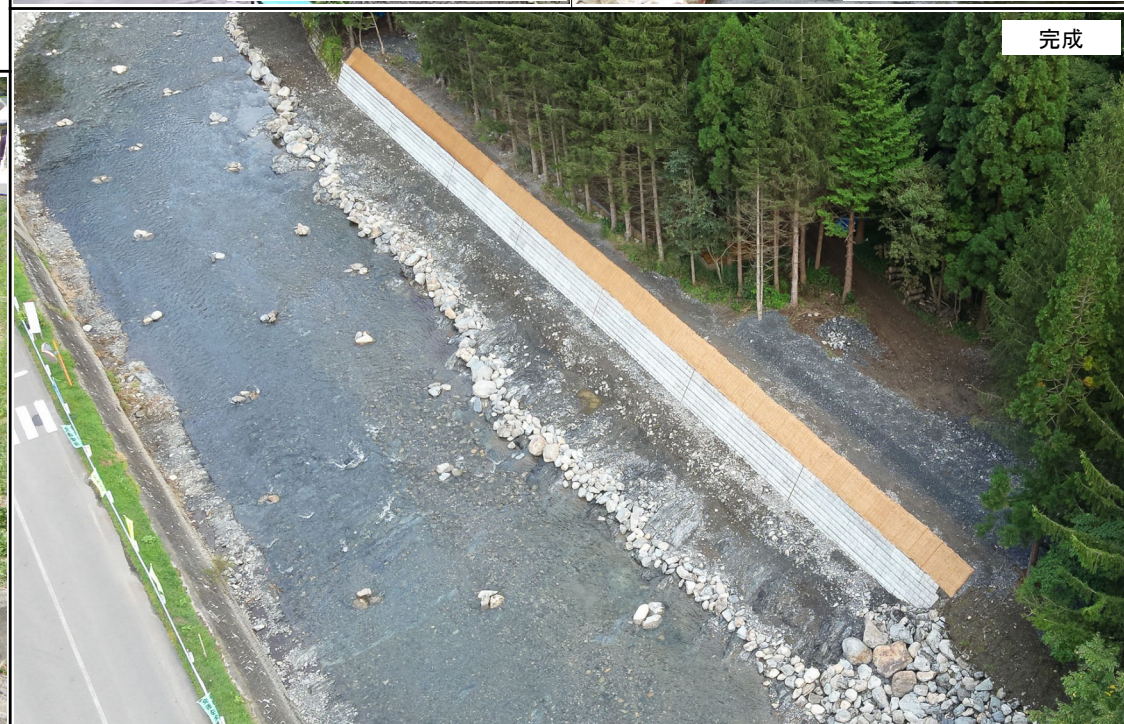
近年多発する集中豪雨の増水時の安全確保・対策が重要と考え、発注者と動画（画像）を共有できる【通信一体型遠隔現場監視カメラ】を設置し、このカメラは河川を24時間リアルタイム監視できる。

仮水路工・河川横断管（Φ1100mm）の浮き上り防止対策として、従来の大型土のうではなくボトルユニット（2t）を選定し使用した。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

大川は、小規模河川でみられる短時間で急激に河川水位が上昇する特性の河川であることから、本工事では、通信一体型遠隔現場監視カメラを設置し、本社、スマートフォン及び発注者と現場状況のリアルタイムな動画（画像）を共有することにより、集中豪雨等による増水時の工事現場内の安全確保・応急対策ができ、増水時に速やかな初動体制をとることができた。

また、本社も現場状況の把握が容易となったことが、完全週休二日の達成の要因の一つとなっている。



# 農村地域防災減災事業沢内北部地区第9号工事

受注者：（株）田中建設

表彰区分	土木工事	等級区分	土木B級
工事箇所	西和賀町	最終契約額	51,043,300円
契約工期	令和4年8月10日～令和5年6月30日		
工事概要	用水路工 180m		

## ～ 工事において特に優れている点 ～

当工事は降雪量が多い地域の農業用用水路を改修するもので、施工場所は主に2箇所にて点在していた。

1箇所目は、西和賀町が管理する普通河川から取水している取水工及び水路工を施工するため、河川内を締め切るとともに、資材運搬路や施工ヤードを河川内に設置する必要があることから、河川管理者及び西和賀淡水漁業協同組合と調整し、工事を実施しなければならなかった。

また、2箇所目は、農地に隣接しており、農作物（大豆）収穫後に工事着手、翌春4月下旬には農業用水の通水開始が必要と工期に制約がある中で、地元調整を行い、苦情なく工事を実施し、作業環境が過酷な現場において、現場が一丸となって品質・出来栄の良い工事を実施し、無事故無災害で工事を完成させた。

## ～ 他の模範となる事項：環境への配慮 ～

河川内の工事に着手する前に、漁協とともにカジカ1329匹、イワナ29匹及びヤマメ37匹を工事の影響を受けない河川上流に引越させた。

また、河川内工事であったことから、漁協と綿密に打合せ・現地確認を行い、工法や施工時期を幾度となく調整するとともに、どうしても発生する濁水はバイオログフィルター（NETIS 登録製品）を設置し、下流の河川の濁り防止に努めた。

これらの取組が評価され、工事後に漁協から感謝状を受けた。



工事名		農村地域防災減災事業沢内北部地区第9号工事
工種	準施工	
位置	丸沼田水路	環境保全作業 調査状況
設計手法		
実測手法		
立会者		株式会社 田中建設

工事名		農村地域防災減災事業沢内北部地区第9号工事
工種	仮設工	
位置	丸沼田水路	バイオログフィルター 2・3段目設置完了
設計手法		
実測手法		
立会者		株式会社 田中建設



工事名		農村地域防災減災事業沢内北部地区第9号工事
工種	完成	



位置	川舟水路	完成 NO.2～1.P2
設計手法		
実測手法		
立会者		

# 経営体育成基盤整備事業福田地区第2号工事

受注者：（株）丹野組

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級
工事箇所	二戸市	最終契約額	180,745,400円
契約工期	令和4年6月3日～令和5年7月14日		
工事概要	整地工 9.69ha、道路工 1,536.7m、 用水路工 1,232.2m、排水路工 1,369.9m、 河川放流工 1箇所、付帯工 1式		

## ～ 他の模範となる事項：地域への配慮 ～

工事区間内の支障物の移設、地区外生活道路の除雪、清掃等、地域のニーズへの迅速な対応や、高校生の就業体験受入れ、大雨で冠水した道路の清掃等、積極的な対応が地域からも高く評価され、工事のイメージアップにも貢献。

道路工(道路拡幅)に支障になる電柱(防犯灯)があったが、関係者と協議のうえ地域貢献で道路端部に移設することとし、結果、農耕車の駐車帯幅員が広がるなど利便性が向上し、地域住民から感謝された。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、二戸市福田地内に位置する9.7haのほ場整備工事である。施工にあたっては、受益者を加えた定期的な工事打合せ会の実施や、戸別訪問により工事説明を行うなど、地元とのコミュニケーションを密に図った。また、現場発生材の再利用の提案や、地元との共同作業による地区外の災害応急復旧、清掃活動、除雪など、地元からの要望に対して自主的に協力し、丁寧かつ臨機に対応した。加えて、独自で厳しい施工管理基準値を定め、品質の高い施工を行った。

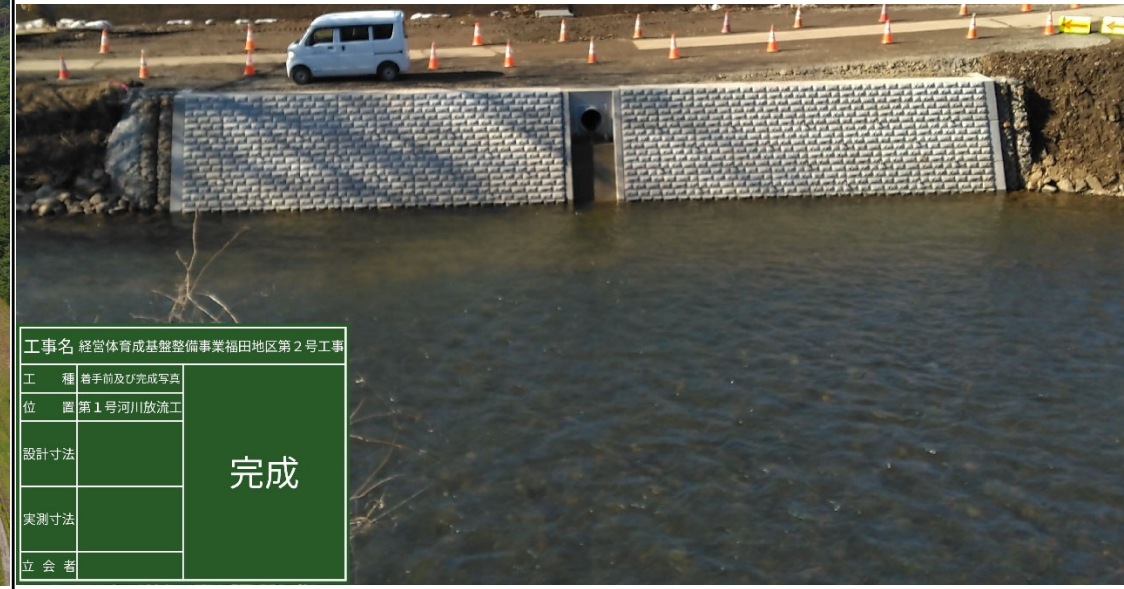


高校生就業体験受入れ



電柱(防犯灯)の移設作業

完成



工事名		経営体育成基盤整備事業福田地区第2号工事
工種	着手前及び完成写真	完成
位置	第1号河川放流工	
設計寸法		
実測寸法		
立会者		

# 一般県道野田長内線大尻3号ロックシェッド補修工事

受注者：（有）根井建設

表彰区分	土木工事	等級区分	土木C級
工事箇所	久慈市	最終契約額	18,608,700円
契約工期	令和5年1月27日～令和5年5月27日		
工事概要	ロックシェッド延長21m、表面保護工42m <sup>2</sup> 、断面修復工1構造物、排水管取替工22m、落石防護柵取替工14m		

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、既存ロックシェッドを長寿命化修繕計画に基づき補修する工事である。当該路線は、観光及び生活道路の重要路線で通行規制が地域に与える影響が大きい中、通行規制の影響や期間を最小限とする仮設計画の提案及び通行車両等への安全面にも最大限配慮した、また地域とのコミュニケーションも積極的に図りながら工事を円滑に完成させるなどの取組が顕著であった。

## ～ 他の模範となる事項：地域への配慮 ～

現場が狭小のため通行規制を伴う施工計画であったが、地域の生活や観光の重要な路線であることから交通への影響を最小限にするため仮設計画を見直し、ロックシェッドの梁部材を利用した足場とすることで交通規制を行うことなく工事を実施した。

工事内容の説明と協力をお願いのパンフレットを作成し、着手前に現場周辺地区の住民へ周知を図った。また、工事内容の説明板を道路脇の現場事務所へ設置し、地域への広報を行った。



# 経営体育成基盤整備事業川台地区第1号工事

受注者：（株）平野組

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級
工事箇所	一関市	最終契約額	167,040,500円
契約工期	令和4年11月22日～令和5年11月20日		
工事概要	整地工 5.74ha、道路工 1,011m、用水路工 2,057m、取水工 2箇所、排水路工 756m		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

- ・ 現地は表土が薄く、基盤土は多くの石礫を含むため、表土剥取をブルドーザ（発注者設計）によらず、バックホウ+不整地運搬車で行うとともに、表土の集積量をICT（UAV測量）で随時管理し、表土必要量の確保と品質向上を図った。
- ・ 用水路工の市道埋設区間556mにて、当初設計の埋設深を変えて簡易土留を減じる縦断計画の見直しを発注者に提案し、同工種に係る施工期間の短縮、作業員の安全の確保、工事費の節減（節減額は直工費約720万円）を図った。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

表土の確保と品質向上への創意工夫、日照障害を招いていた地区外雑木の除去といった地域貢献など、圃場整備後の良好な営農に強く配慮しながら工事を完了させた。

用水路の市道埋設区間について、受注者からの提案により、埋設深を当初計画から見直した結果、施工の効率性・安全性の向上と工事費の節減が図られた。

岩手県県有林J-クレジットによるカーボン・オフセットの取組などを通じて環境配慮に貢献した。



バックホウによる入念な表土確保作業



埋設深見直し提案による施工のスリム化



完成



着手前



# 二級河川久慈川筋湊町地区築堤護岸改築（その7）ほか工事

受注者：宮城建設（株）

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級
工事箇所	久慈市	最終契約額	477,039,200円
契約工期	令和4年7月25日～令和6年3月25日		
工事概要	施工延長 307.2m、堤防護岸工 4,066m <sup>2</sup>		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

レーザースキャナーシステム及びドローンを用いて土量管理し、工期の短縮及び省人化を図ったほか、コンクリート構造物表面の気泡の発生を抑制する透水性型枠用シートを使用することで、鉄筋の酸化を防ぎコンクリートの耐久性の向上を図った。

また、現場には、クラウド録画カメラを設置し、施工状況の確認や不安全行動の防止、異常気象時の現場監視を行い、1年8ヶ月に及ぶ工期を無事故で完工した。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、東日本大震災津波により被災した二級河川久慈川において、防潮堤をL1津波に対応したT.P. +8.0に嵩上げするものである。周辺住民、地元漁協、関係機関等との調整事項が多岐にわたる中、地域住民等とコミュニケーションを図りながら適切な工程調整に努め、また、新技術を多数活用しながら、現場内の安全性及び工事品質を高めた取組が顕著であった。



レーザースキャナーシステム



クラウド録画カメラの映像による現場事務所からの常時監視

完成



施工状況



# 農地中間管理機構関連農地整備事業 原・蟹沢地区第1号工事

受注者：(株)横沢工業所

表彰区分	土木工事	等級区分	土木A級
工事箇所	金ヶ崎町	最終契約額	327,966,100円
契約工期	令和4年9月27日～令和5年7月31日		
工事概要	整地工 17.15ha、道路工 2,523.0m、 用水路工 3,411.0m、排水路工 3,327.0m、 取水工 2箇所		

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、施工面積17.15haと大規模な工事であったが、出来形管理に空中写真測量を導入することで測量作業の効率化を図り、計画的に工事を進め、営農に支障を生じさせないよう適時に農地の引渡しを行った。

また、工事区域に近接する小学校の全児童を対象に建設業の役割を身近に感じてもらう「工事体験会」を開催し、建設業のイメージアップに貢献した。

希少種の生息が確認されている現場内での作業であったが、全作業員に環境保全への意識醸成を図り、希少野生動植物の保護活動にも現場が一体となって取り組んだ。

## ～ 他の模範となる事項：地域への配慮 ～

建設業の楽しさや農業の大切さ、田んぼの整備について学んでもらうことを目的として、発注者と連携し隣接する永岡小学校（全校児童82名）を対象に①バックホウ試乗体験、②VRによるバックホウ操作体験、③ブルドーザー試乗体験、④ブルドーザー押土作業見学、⑤「田んぼの役割」説明などの「田んぼの工事体験会」を開催した。後日、児童達からお礼の冊子をいただき、ほ場整備の役割を身近に感じ、建設業への関心を持ってもらうことができた。



VRを活用したバックホウの疑似操作体験



バックホウ試乗体験



完成



着手前

# 一般国道282号竜ヶ森スノーシェルター（3工区）補修工事

受注者：（株）小山田工業所

表彰区分	土木系工事	等級区分	鋼工作物
工事箇所	八幡平市	最終契約額	143,006,600円
契約工期	令和5年3月31日～令和5年12月11日		
工事概要	施工延長 199m、支承部補修工 0.9m3、 上部工取替工 433組、漏水対策工 200m3、 屋根材取替工 (FRP) 7m2、 屋根材取替工 (コルゲート) 96m2		

～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

## 【主構取替えの品質向上】

主構取替作業に於いて、既存のガセットPLと取付けアンカーボルトが干渉する可能性があるため、主構の実寸大サイズの模型を製作し、取付け時に干渉しないことを確認後、工場製作に取りかかった。また、地覆部の鉄筋探査を高精度かつ横向きからも実施し、主構部アンカー削孔位置を<各箇所別に>修正変更して施工品質向上を図った。

以上により、現地作業における手戻りを回避し、工事進捗を図った。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、一般国道282号竜ヶ森スノーシェルター（3工区）の補修工事である。竜ヶ森スノーシェルターは建設から25年が経過し、老朽化や凍結防止剤散布等に起因する劣化が進行しており、法定点検においても早期の修繕が必要と判定されたことから、早急な補修の実施が必須であった。

受注者は、綿密な事前計画に基づく、適切な工程管理により、現場の週休二日（4週8休）を達成しながらも当初工期内に現場完成することができた。



# 都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋上部工(2期)工事

受注者：北日本機械（株）

表彰区分	土木系工事	等級区分	鋼橋上部
工事箇所	二戸市	最終契約額	463,005,400円
契約工期	令和3年7月1日～令和5年11月26日		
工事概要	施工延長 106m、工場製作 245.1t、 鋼橋架設工 245.9t、支承工 3個、床版工 224m <sup>3</sup> 、 踏掛版工 2箇所、仮設工 1式		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

供用開始している桁に腹付けして拡幅する本工事では、活荷重がかかるⅠ期工事の桁と自重だけのⅡ期工事の桁の高さを合わせて結合させることが最大の課題であった。このため、新設側の桁上に数十枚の鉄板を並べ、後打ちコンクリートの重量に相当する仮想荷重をかけ、桁を強制的に下げた。さらに、桁同士をつなぐ添接板を設置する際、わずかな桁のずれを綿密に検出し、桁の状況に合わせたそれぞれの添接板を製作し最終結合を行った。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

既設の位置に新設する本工事は、常に供用しながら架け替えを行う必要があり、交通規制はもちろん、既に供用されたⅠ期工事の桁が2主桁であるのに対し、Ⅱ期工事は1主桁と桁が張出した状態で剛結するという難工事であった。特に、活荷重がかかっているⅠ期工事の桁とのキャンバー調整が困難を極め、床版コンクリート打設方法にも工夫が必要であった。このため、綿密な施工計画の検討や現場管理を適正に行った結果、本工事が無事故で完成したことは関係者にとって貴重な経験となった。



既設桁と新設桁の高さを調整し、添接板により結合



新設桁のキャンバー調整の敷き鉄板  
敷き鉄板は横桁の段差を測定しながら重量を調整



完成



完成

# 龍泉洞地区予防治山工事

受注者：県北緑化（株）

表彰区分	土木系工事	等級区分	法面
工事箇所	岩泉町	最終契約額	106,475,600円
契約工期	令和4年8月19日～令和5年6月30日		
工事概要	固定工(ロープネット工) 1061.2m <sup>2</sup> 、固定工(ロープネット工/マクロネットHR相当) 307.7m <sup>2</sup> 、固定工(ロープネット工/マクロネットPWP相当) 17.3m <sup>2</sup> 、固定工(ロープ掛工) 10.4m <sup>2</sup> 、落石緩衝柵工(エネルギー吸収型/ARC200相当) 17.0m、仮設工(モルタルほか) 1式		

## ～ 他の模範となる事項：環境への配慮 ～

天然記念物である洞内に生息するコウモリに配慮するため、地元有識者の意見を積極的に施工に反映した。  
 落石緩衝柵等の色彩による景観の悪化を軽減するため、部材を自然色で着色し、周辺環境の調和に努めた。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、観光地である龍泉洞直上部の最大斜度80°に達する荒廃斜面における落石対策工事であり、一つの落石も許容できない難工事であったことから、施行に際し、作業員や来場者の安全確保が課題であった。これに対し、受注者においてネットワークカメラやドローン、遠隔臨場を活用し、工事箇所やその周辺の状態を詳細に把握する等、徹底した安全管理体制の基、来場者に配慮した騒音対策についても積極的に取り組み、施工時の苦情は生じなかった。

加えて、本施工地は天然記念物である“龍泉洞内に生息するコウモリ”の生息地であったことから、地元有識者ととも現地を複数回調査のうえ、コウモリの活動を阻害せず、かつ現地に最も適合する工法を発注者に提案する等、工事全体の質を高める取り組みが顕著であるなど、調整事項の多い難工事であったが、無事故で工期内に工事を完成させた。



地元有識者との現地調査状況



自然色で着色(タフコート加工)した落石緩衝柵  
(着色前の色彩は銀色)

騒音が発生する作業時は、防音シートを設置するとともに、騒音計測器で音量レベルを常に確認した。



発信側

受け手側

遠隔臨場状況



龍泉洞直上部施工箇所



作業状況



作業時は、任意で仮設落石防護網(タフコート仕様)を設置した。



完成(ロープネット工)

# 主要地方道水沢米里線館山地区道路災害防除（ブロック7・その4）工事

受注者：進栄建設（株）

表彰区分	土木系工事	等級区分	法面
工事箇所	奥州市	最終契約額	205,518,500円
契約工期	令和5年2月2日～令和5年12月6日		
工事概要	施工延長 22.3m、モルタル吹付 543m <sup>2</sup> 、 グラウンドアンカー 22本、PCW基礎パネル設置 26m <sup>2</sup> PCWパネル設置253m <sup>2</sup> 、軽量盛土 1,102m <sup>3</sup> 、 浮石除去対策工 1式		

～ 他の模範となる事項：地域への配慮 ～

若年建設従事者入職推進の一環で岩手県建設業協会の依頼により、一関工業高等学校土木科を現場に招き、現場見学会を実施した。

また、県立岩谷堂高等学校就業体験依頼があり、土木作業の実体験を通し、建設業の必要性を理解してもらうとともに魅力もPRした。

～ 工事において特に優れている点 ～

各機関からの現場見学会等依頼を積極的に引受け、現場での実体験を通して、若年者への建設業の理解向上と魅力発信に努めた。



現場見学会の実施状況



インターシップの受入れ状況



施工状況

# 桜山(3)地区急傾斜地崩壊対策工事

受注者：(株)たかしん興業

表彰区分	土木系工事	等級区分	法面
工事箇所	盛岡市	最終契約額	247,373,500円
契約工期	令和4年3月30日～令和6年9月30日		
工事概要	施工延長 155.0m、補強土植生法砕工 2,910m <sup>2</sup> 、吹付砕工 621m <sup>2</sup> 、鉄筋挿入工(D19 5.0m) 95本、鉄筋挿入工(D19 3.0m) 105本、防護柵工 63m		

## ～ 他の模範となる事項：環境への配慮 ～

伐採時における枝葉等の桜川流域への流出による水質汚濁防止や吹付資材の飛散による現場周辺の汚損対策が課題であった。そのため桜川に枝葉を回収するためにスクリーンを設置し、定期的に清掃を実施することで下流域への流出を防止した。吹付時に吹付プラントを飛散防止シートで囲い、資材の飛散を防ぎ周辺の汚損防止に努めた。

さらに加えて、土砂や飛び石が仮設防護柵を超える危険性を考慮し、飛散防止ネットを設置した。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、盛岡市桜山地内における急傾斜地崩壊対策工事で、住宅地に面した急傾斜地の土砂崩壊の防止を図り、地域住民の安全確保を目的とする工事である。施工箇所が住宅地周辺であるなどの現場条件に適した様々な対応を提案・実施するなど、工事全体の質を高める取り組みが顕著であり、地域住民への工事の周知活動や周辺環境の保護に努め、全作業員への安全指導を徹底し、苦情なく無事故・無災害で早期完成させることができ、地域住民の負担の軽減と安全を確保した。

完成



スクリーンの設置、清掃状況

工事名	桜山(3)地区急傾斜地崩壊対策工事
工事種別	補強工
位置	桜川
実施時期	枝葉除去状況
担当者	



飛散防止シート設置状況



施工状況

# 一般国道343号有南田地区ほか道路舗装補修工事

受注者：（株）小山建設

表彰区分	土木系工事	等級区分	舗装
工事箇所	一関市	最終契約額	48,761,900円
契約工期	令和5年3月14日～令和5年10月13日		
工事概要	施工延長 735m、路面切削工 5,260m <sup>2</sup> 、 クラック抑制シート 900m、表層工 5,260m <sup>2</sup> 、 ペイント式区画線 1,950m		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

歩道や路側に設置して測定できるレーザープロファイラを使用し、交通規制をかけずに横断測量を実施する事により、交通事故のリスクを減らすことが出来た。

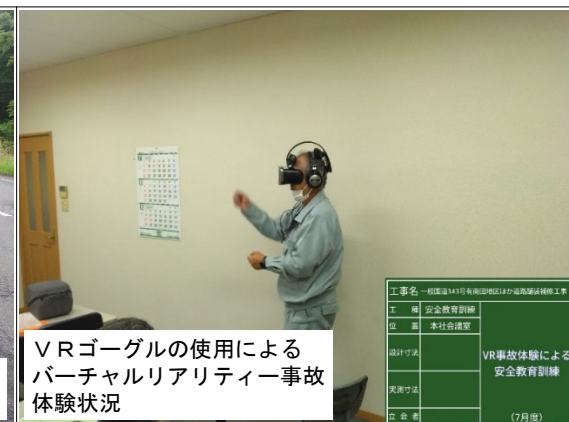
安全教育に「VRゴーグル」を使用し、従来はDVD等の視聴だったものを、ヘッドマウントディスプレイによるバーチャルリアリティーにより、仮想の事故体験によって労働災害への意識向上を図った。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は交通量が多い国道での切削OL工事であり、ICT施工を取入れ施工及び出来形管理の省力化を図ったほか、交通規制の影響を少なくするため、歩道や路側に設置して測定できるレーザープロファイラを使用し、交通規制をかけずに横断測量を実施した。また、交通量が多い箇所であったため、安全管理においてはVRゴーグルを使用し、仮想の事故体験によって労働災害への意識向上を図り、無事故で工事を完成させた。



レーザープロファイラによる横断測量作業状況



VRゴーグルの使用によるバーチャルリアリティー事故体験状況

工事名	一般国道343号有南田地区ほか道路舗装補修工事
工種	安全教育訓練
部署	本社営業課
設計者	VR事故体験による安全教育訓練
実施者	
担当者	
日付	(7月8日)

完成



施工状況





# 早池峰国定公園早池峰山山頂避難小屋改修工事

受注者：（株）菊地建設

表彰区分	建築工事	等級区分	建築A級
工事箇所	遠野市	最終契約額	56,716,000円
契約工期	令和5年4月11日～令和5年10月31日		
工事概要	避難小屋改修 延床面積 69.61m <sup>2</sup> ヘリ資材輸送 1式		

## ～ 他の模範となる事項：環境への配慮 ～

現場が特別天然記念物地域で地形等の現状変更には制限があり、登山者の行き来がある中で露岩が多数ある山頂の狭小区間に全ての資材を下せるように、資材配置を行った。また風速30m以上の風が吹く山頂で資材等の風散養生を実施した。

早池峰山では環境保全の取り組みとして携帯トイレの推進を行っており、山中にトイレがないため、工事期間中の現場員の排せつ物の処理管理（容器へ排泄後下山後に処理）を徹底した。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

施工箇所が早池峰山山頂（標高1,917m）であるため、現場作業員が片道3時間以上の通勤時間を要し、1日の作業時間が限られること、10月中旬には降雪期に入り施工時期が制限されること、文化財法や自然公園法などにより地形等の現状変更の制約があり、最低限の狭小な作業ヤードでの工事となったこと、環境保全のために携帯トイレの利用しかできない特殊な作業環境であったこと等、過酷な現場状況の中、単年度で工事を完成させたことは特筆に値する。

また、ヘリコプターでの資材輸送においては、地域の環境保全団体や近隣住民、登山客等との細やかな調整が必要な中で、関係者の意向に沿って、事前の周知や作業エリアの区分け、誘導員の配置等、関係者の理解を得ながら、円滑に施工したものである。

資材の養生状況



排泄物持ち帰りのためのトイレブース

完成



完成



# かんがい排水事業水管理システム胆沢平野地区第1号工事

受注者：北日本通信（株）

表彰区分	電気・通信設備工事	等級区分	通信
工事箇所	奥州市	最終契約額	452,628,000円
契約工期	令和3年12月28日～令和6年3月15日		
工事概要	水管理システム設備製作 1式、 水管理システム設備据付 1式、作業土工 1式		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

VRを活用した体験型の安全教育を工事期間中2回実施し、現実では再現不可能な高所からの転落や、実際に感電(安全な微弱電流)することなどを体感でき高い学習効果が得られた。

更新箇所は胆沢平野一帯の41施設(撤去6施設除く)と点在しており、測量作業の効率化を図るためLiDAR(ライダー)搭載iPhoneを活用し施設の「3Dスキャン」を実施した。1人で3Dモデルが作成でき、施工性が向上し工程の短縮と経済性の向上を図ることができた。

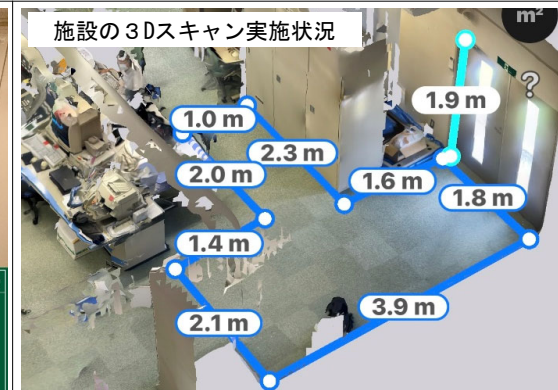
## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、胆沢平野一帯(約9,000ha)の農業用水を管理するシステムを更新する広範囲・大規模なものであったが、施設の重要度と施工順について、施設管理者ときめ細やかな事前調整を行うなど、かんがい期の用水供給や洪水時の監視に支障なく施工した。

また、水路内の清掃活動や岩手県再生資源利用認定製品の活用による環境への配慮、熱中症予防のぼり旗の設置やインターシップの受け入れ等による地域貢献活動も行った。さらには、現地測量や安全教育についてICT技術を活用するなどして、効率的で安全な工事に対する作業員の意識付けを継続的にを行い、長期にわたる工事期間においても、無事故、無災害で完工させた。



VR安全教育実施状況



施設の3Dスキャン実施状況



着手前



完成

# いわてリハビリテーションセンター大規模改修（機械設備）工事

受注者：富士水工業（株）

表彰区分	管設備ほか工事	等級区分	管A級
工事箇所	雫石町	最終契約額	160,868,400円
契約工期	令和4年10月1日～令和5年9月25日		
工事概要	RC造地下1階、地上2階建て 延べ面積8,249.01m <sup>2</sup> 機械設備改修工事(空気調和設備・自動制御設備)1式 (吸収式冷温水発生機2基撤去更新、温水発生機1基撤去更新、空気調和機2基撤去更新1基分解整備、空調ホップ類15台分解整備、自動制御設備撤去更新)		

## ～ 他の模範となる事項：創意工夫 ～

冷温水配管（鋼管SGP200）は工場にてプレハブ加工を行い現場は組立中心とする事により、施工性が向上し工期を大幅に短縮できた。加工管の製作に関しては、現地測量を基にCADによる管割や組立図を作成したことにより、現地合わせを極力減らすことが出来き、工期短縮と人員削減に繋がった。

コンクリート内部探査機（3Dスキャン）を採用し、コンクリート解体や差し筋時に埋設管等の損傷を防ぐ事が出来た。

## ～ 工事において特に優れている点 ～

本工事は、老朽化した熱源機器を撤去更新する改修工事であり、冷房暖房を一手に担う吸収式冷温水発生機2基を同時、かつ短期的な施工が求められる工事であったが、施工工程の短縮、耐震問題の解決を図るほか、リハビリテーション施設（入院外来）が通常通り行われている状況下での仮設冷暖房の提案実施、施設管理者等との細かな打合せにより工期内に完成させた。

